

現行計画策定後の取組状況

圏域全体の国土強靱化の推進に向け、8市町村が今後検討していくとした12の連携項目の取組状況

＜令和6年3月31日現在＞

No	連携項目	概要	【取組状況】／【関連する取組】／【今後の方向性】
①	避難体制の検証・強化	圏域市町村の境界にある避難所の相互利用や避難経路等を検証	【取組状況】 具体的な取組内容について検討中である。 【今後の方向性】 大規模災害時における広域的な避難の必要性について言及している下記の参考資料等をもとに、圏域市町村の被害想定や避難経路、避難所や備蓄の状況等を踏まえ、市町村の枠を超えた広域避難について検討していく。 ＜参考資料＞ 「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の対策についての報告書」（令和4年3月内閣府） 「令和6年能登半島地震に係る災害応急対応の自主点検レポート」（令和6年6月内閣府） 「馬淵川の減災に係る取組方針」（令和3年3月馬淵川大規模水害に備えた減災対策協議会）
②	住民向け防災研修会の開催	圏域市町村が連携して住民向け防災研修会を開催	【取組状況】 災害に対する備えの重要性の理解を深めることや避難意識の向上など、防災意識を高めるため、圏域に居住する方がどなたでも参加できる防災研修会を開催した。 ＜研修会名＞ 令和3年度八戸市防災シンポジウム 令和4年度八戸市防災研修会 令和5年度八戸市防災研修会
③	外国人のための防災教室の開催	圏域市町村が連携して外国人のための防災教室を開催	【取組状況】 圏域に居住する外国人も災害時に適切な避難行動をとり、必要な支援が受けられるよう、「必要な情報を、正しく迅速に伝える手段」である「やさしい日本語」を学ぶための防災研修会を開催した。 令和4年度八戸市防災研修会 ＜講師＞ 老邑敬子氏（やさしい日本語指導者、防災士） ＜演題＞ 防災とやさしい日本語～情報弱者を出さないために ＜内容＞ 外国人や高齢者、障がい者などとのバリアフリーの言葉としても活用される「やさしい日本語」について学ぶもの。
④	合同防災訓練の実施	圏域市町村による合同防災訓練の実施	【取組状況】 具体的な取組内容について検討中である。 【関連する取組】 連携市町村が実施する総合防災訓練に、他の連携市町村の防災担当者が参観している。 「大規模災害時における八戸・久慈・二戸の三圏域に係る市町村相互応援に関する協定」に基づく、災害時の応援要請に係る情報伝達訓練を毎年実施している。 【今後の方向性】 圏域の災害対応力の向上のため、圏域市町村合同の災害図上訓練等の実施を検討していく。

No	連携項目	概要	【取組状況】／【関連する取組】／【今後の方向性】
⑤	防災教育の推進	防災ノート等、防災教育の取組を圏域で推進	【取組状況】 具体的な取組内容について検討中である。 【関連する取組】 市民や、市内の小中学生の防災教育を目的に八戸市が作成した防災教育 DVD や防災教育副読本（防災ノート）について、圏域町村に配布し、情報共有している。 【今後の方向性】 圏域を対象とした小中学校向けの防災教育教室の開催等により、防災教育の推進を検討する。
⑥	集落の孤立防止対策	圏域内の災害時に孤立する可能性のある避難所等について、物資の備蓄や避難路等の確保を検討	【取組状況】 具体的な取組内容について検討中である。 【関連する取組】 大規模災害時における八戸・久慈・二戸の三圏域に係る市町村相互応援に関する協定」に基づく、圏域内の応援物資等の保有状況を毎年確認している。 【今後の方向性】 令和6年度に青森県が改訂を予定している「防災公共推進計画」における圏域内の孤立する可能性のある集落・避難場所抽出結果等を踏まえ、物資の備蓄や避難路等の確保になどの取組方針を検討する。
⑦	防災拠点の整備	八戸市長根屋内スケート場について、広域的な防災拠点としての活用方法を検討	【取組状況】 大規模災害時に青森県の広域的な防災拠点として、物資集積拠点や自衛隊・消防・警察等の支援部隊の活動拠点として施設を活用するため、青森県と下記の協定を締結した。 <協定名>大規模災害発生時における広域防災拠点の確保及び使用に関する協定 <概 要>八戸市長根屋内スケート場を青森県の広域防災拠点に位置付けた。 また、令和3年度八戸市総合防災訓練において、八戸市長根屋内スケート場を会場にして物資集積拠点、自衛隊・消防・警察等の支援部隊の活動拠点としての訓練を実施した。 【関連する取組】 圏域内で複数の施設が青森県の広域防災拠点となり、防災拠点の整備が進んでいる。 <青森県の広域防災拠点（圏域内一部抜粋）> ・三戸町 松原公園 ・田子町 229 ドーム ・階上町 鳥谷部農村公園 ・新郷村 間木ノ平グリーンパーク ・五戸町 五戸ドーム ・南部町 南部町福地体育センター ・おいらせ町 八戸北丘陵下田公園

No	連携項目	概要	【取組状況】／【関連する取組】／【今後の方向性】
⑧	消防団員の確保に向けた広報・周知	関係市町村が連携して、消防団への入団促進のための広報や周知活動を実施	【取組状況】 公益財団法人 日本消防協会が主催する消防団員や団員家族向けに、飲食店などの事業所が料金割引サービス等を提供する「消防団応援の店」制度を活用し、消防団のPRや加入促進を図る取組みを推進している。 <令和2年度> 「八戸市消防団応援の店」の運用開始。 また、全国どこの消防団員もサービスを利用できる「全国消防団応援の店」にも加入した。 <令和4年度> 圏域市町村及び消防本部において、「全国消防団応援の店」の加入についての情報を共有して、参加を希望する町村が円滑に手続きできる体制を構築した。
⑨	自主防災組織情報交換会の実施	関係市町村の自主防災組織による情報交換会の実施	【取組状況】 圏域の自主防災組織の充実・強化を図るため、圏域の自主防災組織が活動内容や運営上の課題など、相互に情報を交換する「八戸圏域自主防災組織情報交換会」を開催した。 令和5年度八戸圏域自主防災組織情報交換会 <内容> 防災教育に関するDVD視聴 自主防災組織に関する取組事例紹介 自主防災組織活動発表 参加者による意見交換
⑩	住民等への情報伝達手段の研究	情報伝達手段の研究	【取組状況】 防災に関わる圏域市町村の防災担当職員の災害対応力の向上を図るため、実務レベルの課題等について意見交換する「防災関係職員合同研修会」を開催した。 令和2年度 防災関係職員合同研修会 <内容> 圏域市町村の避難情報発令に係るマニュアルの情報共有 情報伝達発令のタイミング、住民への伝達手段・方法等についての意見交換
⑪	防災関係職員合同研修会の開催	関係市町村合同による研修会を開催	
⑫	防災関連マニュアルの共有	避難所運営マニュアルや初動体制マニュアル等を共有	